

一〇二二年八月一三日

刃に入るや否や弾ける大西瓜
ドーム映す夜の川面や原爆忌
浮子ひとつ波に浮沈す夏の果
馬の背に見ゆる人影秋初め
鞆堂の褪せし鈴の緒夏深し
施設での暮らしにも慣れ夏の逝く
日付書く一升瓶の梅酒かな
盆踊りペディキュアの下駄軽やかに
呼ばれたる夢の返事す昼寝覚
カリヨンの涼しき音洩る校舎より
草いきれ分け入る先の飼畜小屋
城跡の崩れし土壘残る虫

わかば
む　べ
む　べ
む　べ
む　べ
む　べ
はく子　よう子
かかし　かかし